

7月15日
お知らせ号

広報

めまわ

2024年(令和6年)
No.1717



詳細は
こちら

高尾山古墳 国指定史跡へ

市内
4件目の

■<https://www.city.numazu.shizuoka.jp/>



主体部から出土した副葬品等から埋葬者が高い経済力と権力を有し、武人的性格が強い人物と想定されています。



沼津市東熊堂字北方地内に所在し、愛鷹山から南に延びる尾根(丘陵)の末端上に立地する、全長約62メートルの前方後方墳。



発掘調査の様子。高尾山古墳の保存と都市計画道路(沼津南一色線)の整備の両立を図る取り組みが進められています。



高尾山古墳が国指定史跡に！市内では30年ぶり！

高尾山古墳は東熊堂で発見された東日本最古級の古墳です。築造されたのは、^{あまたいこく}邪馬台国の女王卑弥呼^{ひみこ}が生きていた時代、今から約1,800年前と考えられ、高尾山古墳の発見によって、この時期に西日本だけでなく、沼津にも巨大な墓を作る権力者がいたことが明らかになりました。さらに、珍しい形をしていることも重要で、古墳といえば前方後円墳という形が有名ですが、高尾山古墳は前も後も台形の前方後方墳です。

古墳からは中国から輸入された鏡をはじめ、鉄製武器、石製^{すがたま}勾玉などが出土しており、古墳文化の東日本への広がりや当時の経済ネットワークを考えるうえで貴重な遺跡といえます。

その歴史的な価値が認められ、国の文化審議会から文部科学大臣に『高尾山古墳』の国史跡指定が答申されました。今秋、国の官報告示を経て正式に国指定史跡となります。市内では他に、^{やすみば}休場遺跡(宮本)、長浜城跡(内浦)、興国寺城跡(根古屋)も国指定史跡となっています。